

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションコーディネート Fashion Coordinate		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	なし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールド科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
儀礼服飾、ディスプレイⅡ、メイク・ヘア・ネイル技法、デザイン演習Ⅰ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
立川笑子	非常勤講師室	授業内に指示する	授業中に指示します	
授業の概要 ファッションコーディネートの基本知識を学習し、最先端の流行コーディネート・ライフスタイルに合ったコーディネートができる知識を得る。				
授業の目標 ①ファッションコーディネートの基本知識を理解できるようにする。 ②ライフスタイル・シーン別に合ったファッションコーディネートを提案できるようにする。				
授業の方法 講義とテーマ別マップ製作。スタイリングの実践と撮影・発表。				
学習の成果（学習成果） ①時代への適応力を持ち合わせたスタイリングができるようになる。 ②コーディネート提案の基本知識を身につけることができる。 ③ファッションの現場で実践の知識の幅を広げることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、マップ・ブック製作の説明）			
第2回目	ファッションコーディネートの基本的な考え方			
第3回目	ライフスタイルに視点を置いたコーディネート			
第4回目	オケージョン別マップ製作			
第5回目	色彩に視点を置いたコーディネート			
第6回目	カラー別マップ製作			

第7回目	素材別コーディネート		
第8回目	素材別マップ製作		
第9回目	イメージ別コーディネート		
第10回目	イメージ別マップ製作		
第11回目	アクセサリと体型カバーに視点を置いたコーディネート		
第12回目	アクセサリを組み合わせた体型カバー別マップ製作		
第13回目	スタイリング実践 スタイリング考案（5スタイル）		
第14回目	スタイリング実践 スタイリング別撮影（校舎内、校庭）		
第15回目	発表、マップと撮影した物をブックにして提出		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	40%	積極的に授業に参加し、個人ワークがスケジュール通りに行えるか。
	レポート	40%	創意工夫して製作しているか。提出物は期限内にできているか。
	調査報告書		
	小テスト		
	試験		
	発表内容（態度含む）	20%	発表態度。
	その他		
教科書と参考図書			
【教科書】 ファッション流通講座7 コーディネートテクニック演出編（文化服装学院編）			
履修上の留意点・ルール			
個人製作の為、費用は個人負担。無断欠席、忘れ物は減点の対象とする。個人ワークが多い為時間を無駄にしないように事前の授業準備をしておくこと。レポート提出あり。			